月刊 かわごえ環境ネット

2018年8月号 No.142　　http://kawagoekankyo.net

2018 年 8 月 7 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

「夏の郊外クリーン活動」報告

実施の様子

年間 3 回のクリーン活動の初回となる「郊外クリーン活動」が 7 月 15 日（日）に行われました。猛暑の中、24 名が小仙波周辺の道路沿いでごみ拾いをしました。次回は 10 月 20 日（土）・21 日（日）の「川越まつり」会場クリーン活動です（詳報は本紙 9 月号にて）。（詳細 7 面）。

「エコプロダクツ川越 2018」出展

1 階の会場

ペットボトルロケット発射の瞬間

2013 年から 6 回目となる「エコプロダクツ川越 2018」が 7 月 22 日（日）に開催され、かわごえ環境ネットは 2 階で団体等と共同出展しました。この日も猛暑でした。（詳細 8 面）

目次

コラム	川越の自然をたずねて（66）寺尾調節池生き物調査	2-3
	「SDGs」を身近な合言葉に！（2）川越市議会でも質問が出た	3-4
報告	かわごえ環境ネットの活動（5 題）	4-9
	会員・地域・流域の活動（5 題）	9-13
	理事会・専門委員会（3 題）	14-15
予告	かわごえ環境ネットのおしらせ・主催・後援行事（6 題）	15-17
	会員・関係団体の主催・関連行事（9 題）	17-20
	広報委員会からのおしらせ	20-21
	イベントカレンダー（8 月 8 日～10 月 6 日）	22

【コラム】川越の自然をたずねて（66）寺尾調節池生き物調査

寺尾調節池の一部では毎年、かわごえ環境ネットの有志による植物を主とした調査が行われてきました。今年度も行われたようですが残念ながら私は参加できませんでした。

別の機会に“生き物調査”というかたちで有志による観察会が開かれましたのでその報告をいたします。

寺尾調節池は 2003 年から運用、それ以前はほとんどが田んぼ、そして耕作放棄地となり、湿地状態をへて工事開始となり、人工の池となりました。外周 1800m のジョギングコースとなっている土手に囲まれ、池とはいっても普段はほとんど水がなく、一部、湿地で土手とともに草が繁茂する状態です。おおよそ年に 2 回、管理者（埼玉県）により土手部分の草払いが行われ、また大きくなり過ぎたヤナギ類の木を数年ごとに伐倒しているようです。

2018 年 6 月 7 日、9 時 30 分に集合、今回の参加者は私、S 氏、U 氏、M 氏、K さん、M さんの 6 人でした。当日の天気は晴れ、気温は高め、雨上りの湿気がありました。

鳥類　カッコウ（声）、キジ（声）、オオヨシキリ（声）、カワラヒワ（声）、ハシボソガラス、モズ、ムクドリ、ツバメ、キジバト、スズメ

昆虫類　アオスジアゲハ、ナミアゲハ、モンシロチョウ、モンキチョウ（多）、キタキチョウ、ツマグロヒョウモン、ヤマトシジミ、ツバメシジミ（多）、ベニシジミ（多）、ナナホシテントウ（幼虫、さなぎ、成虫）、ナミテントウ、ニホンミツバチ、（多）、ショウリョウバッタ、ナガメ、ヨツモンヘリカメムシ、アジアイトトンボ、シオカラトンボ（メス、ムギワラトンボ）、アオヤンマ

植物　オオフサモ、オオバコ、ヘラオオバコ、ネズミムギ、カラスムギ、セイバンモロコシ、アレチウリ、ナガバギシギシ、ナヨクサフジ、ユウゲショウ、ヨシ、シロツメクサ、ムラサキツメクサ、コヒルガオ、コウホネ、オヘビイチゴ、オオブタクサ、キツネノボタン、チドメグサ、セリ、ヒメジョオン、クズ、マメグンバイナズナ、ノブドウ、ヒルガオ、ノバラ、アメリカフウロ、キクイモ、カラスウリ、ワルナスビ、ノビル、センニンソウ、フトイ、サンカクイ、オオカワヂシャ、クレソン、ウォーターマッシュルーム（ウチワゼニクサ）、ヤナギ、オニグルミ、ピラカンサス、クワ

以上が確認できた種類です。概要を以下に記します。

鳥類　この日は朝からカッコウの鳴き声が付近に響いていました。毎年来るわけではありませんが、調節池の中のヨシ原は、オオヨシキリが営巣しているようなので、それを狙っているのかもしれません。また今回はカワセミが見られませんでしたが、寺尾地区排水ポンプ設置工事の影響かと思われます。

昆虫類　モンキチョウが数多く飛んでいました。またベニシジミ、ツバメシジミがヒメジョオン、シロツメクサの花ごとに 2,3 頭いる状態で非常に多く見かけました。モンキチョウ、ツバメシジミの食草はシロツメクサなどのマメ科植物、ベニシジミはギシギシ類でどちらも新河岸川、調節地の土手にかなり多く見られます。また、S 氏の奮闘によりアオヤンマが確認できました。他から入ってきたのか、居ついているのかわかりませんが、黒と緑の筋模様がとてもきれいなヤンマです。

リリース後、草むらで羽を休めるアオヤンマ

植物類　オオフサモは、新河岸川への出口付近、オオブタクサ、アレチウリは新河岸川の土手で繁茂、セイバンモロコシは新河岸川、調節池の土手で繁茂しています。5 月頃には調節池土手の一部がヒルザキツキミソウでピンクになることもあり、また、シロツメクサなどに寄生するヤセウツボも数多く見られます。外来種が 3 分の 2 ほどを占める状態ですが、河川の土手の盛り土などが大きな要因と考えられます。7 月 10 日現在、土手は草払いが行われ、良く管理された中での自然です。

参加された 5 名の皆様、熱い中、1800m、2 時間半の熱心な観察会、ありがとうございました。

（松永裕一）

【コラム】「SDGs」を身近な合言葉に！（2）川越市議会でも質問が出た

1）ピコ太郎の「17 ポーズ動画」も

国連で、2015 年に 21 世紀の人権宣言とうたわれた、2030 年を達成目標にした SDGs 宣言が採択されました。この経過については、前号の 7 月号で小瀬理事長から詳細な解説がありました。今、外務省の PR として、ピコ太郎の SDGs についての「17 ポーズの動画」が流れています。理屈抜きに、17 の目標達成へ、全世界で取り組みましょうと政府も本腰を上げました。

外務省：ピコ太郎×外務省（SDGs）～PPAP～

2）東京五輪での調達にも SDGs が

以前は、環境に配慮した企業の看板に“ISO”が使われましたが、今は「グリーン購入ネットワークの評価チェック」を参考にする動きが高まっています。「サステナブルな未来へ向かってセルフチェック」「持続可能な調達アクションプログラム」とうたって Web で登録を受け付ける制度も始まり、先日さいたま市で説明会があり、東京五輪の担当者からも調達基準の新制度の紹介がありました。パンフレットは、SDGs の 12 番の「つくる責任　つかう責任」を中心に大きくあしらい、周りを残りの項目で囲んだものでした。東京五輪は SDGs 一色になります。

グリーン購入ネットワーク（GPN）：持続可能な調達アクションプログラム　登録受付を開始

3）川越市議会でも質問がありました

川越市議会でも、今年の 3 月議会で高橋剛議員が「70 歳現役社会」に続いて「SDGs」について市の取り組みを質しました。しかし、5 月に市民に配られた議会だよりでは質問「持続可能な開発目標」だけあって、簡単な紹介もありませんでした。

6 月議会では、田畑たき子議員が「SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて（1）食品ロスの削減について、（2）女性防災の視点について質問しました。食品ロスの問題は、1 番の「貧困をなくそう」、11 番目の「住み続けられるまちづくり」、12 番目の「つくる責任　つかう責任」などの多岐にわたる目標に関連することを指摘しました。7 月 25 日に配布された広報の中の議会だよりに、質疑内容がまとめられています。

4）「川越市環境行動計画」と連係

昨年 2 月に改定された「川越市環境行動計画」で、計画策定の背景説明の中に「2030 年アジェンダ」が採択されたことに触れ、18 ページの説明で SDGs の言葉が使われています。前の行動計画を「アジェンダ 21」と略称していましたが、新しい計画の愛称を「SDGs 川越」とでも言ってはどうかと提案します。

17 の目標説明の中で環境に関連した 12 の部分を参考に掲載します。次回から具体的に説明します。

②食料安全保障

③健康

④質の高い教育

⑥水・衛生の利用可能性
⑦エネルギーへのアクセス
⑧包摂的で持続可能な経済成長、雇用
⑨工業化・イノベーション
⑪持続可能な都市
⑫持続可能な消費と生産
⑬気候変動への対処
⑭海洋と海洋資源の保全・持続可能な利用
⑮陸域生態系、森林管理、砂漠化への対処、生物多様性

かわごえ環境ネットも再来年は設立 20 年を迎えます。将来に希望が持てる川越へ、環境行動計画と SDGs を融合させ、かわごえ環境ネット活動を盛り上げたいと思います。（武田侃蔵）

【報告】かわごえ環境ネットの活動

高階北小学校 3 年生「森の自然学習」支援報告（6 月 18 日）　自然環境部会

芽がいっぱい出てる。掘ってみよう。

こんなに長い根っこだ

この木がお母さんだね。コナラです

ミミズがいっぱい集まった

みんなが集めたもの、発表

別れがつらいね～

梅雨の合間の 6 月 18 日（月）は雨が心配でしたが、どうにかもちこたえ、高階北小学校 3 年生 3 クラス 114 人の「森の自然学習」が実施されました。この学習も 8 年目を迎えました。川越南文化会館（ジョイフル）に 9:30、先生方 3 名に引率され元気に子どもたちが到着しました。あいさつ、スタッフの紹介、森に入る時の注意などの後「(仮称) 川越市森林公園」計画地の「森のさんぽ道」に踏み出しました。

今は緑が一番濃い時期で、両側の樹林は先が見通せません。5 分ほど行って林の中に入り、林床にいっぱい生えた実生に注目です。みんなが持参したスプーンで、掘ってみます。10cm 以上ある根っこにドングリが付いたのもある。なるほど、これはドングリから出た芽なんだね。じゃあ、このドングリはどこから落ちたのかな？「ア、これだ！」みんなが指した木は「コナラ」と言います。この林はコナラが多いね。

これにはちゃんとわけがあります。秋に来たときにわかるよ。掘ったコナラの赤ちゃんは持って帰って植えてもいいよ。カブトムシが好きな木です。まっすぐのびている木はヒノキ。つまづいてしまいそうなほど土が盛り上がっていて、これはモグラの塚です。ムラサキシキブの花が咲いていて、秋になると紫の実になるよ。活動場所に着く前にたくさんの自然に出会います。

第 2 武蔵野ふれあいの森周辺でクラス毎に活動地を決め、今日の学習テーマ「身近な自然をさがそう」が開始です。いろいろな葉っぱを集めて「葉っぱじゃんけん」をしたクラスもありました。落ち葉の下にはもぞもぞ動いているものがいるよ、捕まえてみよう。あるクラスではザルで落ち葉をふるい、小さな虫をたくさん見つけたみたい。ヒラタシデムシ、ハサミムシ、ダンゴムシ、ヤスデ、ミミズなどどのクラスもいろいろ見つけたようです。ミミズは特に豊作で、袋にいっぱい集めた子もいました。それだけ土が豊かということですね。

子どもたちが自由に歩き回って集めたものを白いシーツに並べて発表しあいます。虫カップにはハサミムシやカナヘビ、ミミズ、クモの仲間。色々な形の葉っぱ、キノコ、マツボックリ、ドングリなどの木の実。発表の時間が足りないほどです。葉っぱが虫に食われてボロボロになっていますが、虫は野鳥や他の動物に食われます。動物でも植物でも命が尽きたときは地面に横たわりますが、森が死体だらけになることはありません。分解してくれるキノコや土壌生物がいて、分解物がまた次の生命につながる、という「生き物のつながり」も実感できたことでしょう。今回は子どもたちとのコミュニケーションが好調で最後にサヨナラするときはスタッフとハイタッチしながらお別れでした。

今回は、横山、森田、大澤、青野、関口、松永、沖本、賀登勉、賀登環で対応しました。また、秋にお会いしましょう。　　（賀登環）

「キノコの観察会」報告　　自然環境部会

よく見つけたね

冊子が活躍

今日のキノコの解説

日時：2018 年 7 月 1 日（日）9:00～12:00
講師：埼玉きのこ研究会　西田誠之氏、大久保彦氏、埼玉県生態系保護協会　稗島英憲氏
参加者：36 名、スタッフ 10 名

近頃は「異常気象」という言葉をよく耳にしますが、今年は何と、関東地方では 6 月 30 日に「梅雨明け」が出てしまいました。平年より 22 日も早いとのこと。「キノコの観察会」の下見を前週の 6 月 24 日にした際は連日の雨でたくさんのキノコが出ていて、ヨシヨシと満足していたのですが、その後真夏を思わせる炎天が続き、キノコもカラカラになってしまい、新たな芽生えもストップしてしまいました。このような中で本番を迎え、参加者もこれまで最多の 36 名です。どうなることかと不安の出発でした。また、この春に完成した冊子「川越の自然を訪ねて　キノコ編」がどの程度お役に立てるかの試し運転でもあります。参加者に 1 冊ずつ貸し出し、活用していただきます。

林の中へ入りますと風もあり、暑さを忘れます。さっそく目に入るのがイグチの仲間のヤマドリタケモドキでお子さんたちが次々と見つけ

ます。このキノコ（正確にはヤマドリタケの方）は“ポルチーニ”といわれ、ヨーロッパでは美味で珍重されるとか。

西田さんはキノコの名前だけでなく、キノコは植物でも動物でもなく菌類という生き物。地球史では植物が海から上陸した 4 億年前に植物について上陸した。自分では栄養を作れないので植物と共生している。菌類が繁殖のため、地上に出て子実体を作り胞子を飛ばす。その子実体をキノコという。キノコの本体は地中にある菌糸である。最近の DNA 研究から植物よりも動物に近い生き物。

このような興味深い話をされますが、参加者の皆さんは熱心に耳をかたむけていました。また、キノコは菌糸を通じて植物に無機栄養をおくります。それが植物の成長に重要な働きをします。マツではショウロというキノコが着かないと極端に成長が悪いとのこと。

今はイグチの仲間のキノコが多いですが、夏以降次第にテングタケの仲間が隆盛になります。地上性のキノコは、参加者から「食べられますか？」という質問が必ず出ますが、「野生のキノコはよほど確実なもの以外は食べない」が無難です。終わりに採取したキノコを並べ、振り返ります。多くの参加者でしたが、途中、休憩もなく 3 人の講師のがんばりもあり、最後まで集中力の切れない観察会で小学生のお子さんから「楽しかった!」との感想がありました。また、冊子も好評で 9 冊の購入がありました。この日観察したキノコの一例、ヤマドリタケモドキ、オオミノコフキタケ、ムラサキヤマドリタケ、ヒビワレシロハツ、キアミアシイグチ、ムラサキヤマドリタケ、ヒメカタショウロ。詳細は後日報告します。　（賀登環）

川越の樹林地だより（3）「(仮称) 川越市森林公園」計画地・池辺公園　自然環境部会

オオバノトンボソウ

クモキリソウ

草刈りをしてすっきりと

7 月 3 日池辺公園　手入れ

7 月 3 日池辺公園脇のヤブカンゾウ

池辺公園　ハグロソウ

かわごえ環境ネット自然環境部会では毎月定例で川越に残る貴重な樹林地で調査・保全活動をしています。部会報告では簡単に項目だけですので、ここで内容をお知らせいたします。

「（仮称）川越市森林公園」計画地

6 月 25 日この日は絶滅危惧種のランを調べました。オオバノトンボソウは霊園に近いエリアに群落になっています。昨年は 200 株近くを数えましたが、今年も健在のようすです。他にはクモキリソウ、タシロランなどですが、こちらはひじょうに少ないです。花も地味でひっそりとしたたたずまいです。

7 月 9 日は第 2 武蔵野ふれあいの森で草刈りをしました。夏の終わりに釣り鐘状の紫の花を咲かせるツリガネニンジンも次第に増えています。ヤマユリはこの夏、2 つほど咲きました。画期的には増えないですね。

池辺公園

7 月 3 日　キツネノカミソリはまだ花芽は出ていない。ハグロソウはピンクの花がほぼ終わり。ウバユリはわずかに花芽が出ている。ヤブカンゾウがオレンジ色に輝いている。狭い領域ですがなかなか他では見られない希少種がいろいろとあります。　（賀登環）

夏の郊外クリーン活動（7 月 15 日）

集合写真　やすらぎの里に 24 名

小瀬理事長の挨拶

渡辺さんの活動内容の説明

武州ガスの方々

小江戸大江戸トレニックワールドの方々

びん・かんなどの分類作業

かわごえ環境ネットは、市民、団体や事業者に参加を呼びかけ、恒例の「夏の郊外クリーン活動」を 7 月 15 日（日）に行いました。

9 時 30 分に「やすらぎの里」に集合した参加者は 24 名、昨年も 24 名でした。5 班に分かれ国道 16 号などの道路や空地の清掃活動を開始、11 時ごろに「やすらぎの里」に戻り、集めたごみの分別作業を行い、川越市斎場に移動し、渡辺さん差し入れの冷茶で体を冷やし談笑し解散しました。

昨年とは比較にならない猛烈な暑さの中での活動でしたが、水分補給を十分に行いながら無事終了しました。暑かった!!

今年も株式会社武州ガス社員有志とご家族 1

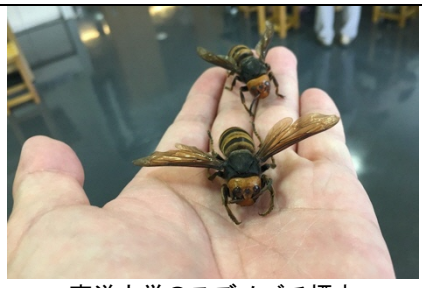
0 名が参加、昨年に引き続き小江戸大江戸トレニックワールドから 4 名が参加、ありがとうございました。

この活動はかわごえ環境ネット社会環境部会の支援により行われました。ありがとうございました。（菊地三生）

エコプロダクツ川越 2018 報告（7 月 22 日）

パイオニア（株）カーナビ分解・組立

東洋大学こもれびの森・里山支援隊


東洋大学のスズメバチ標本

ペットボトルロケットの製作

ペットボトルロケット飛ばし

アクリルたわしづくり

昆虫標本箱の展示

環境ビデオ・クイズ

展示・チェックシートコーナー

7 月 22 日（日）「エコプロダクツ川越 2018」がつばさ館で行われました。今回のスタートは例年と違って、ゆっくりでした。この要因は 3 階でのリサイクル販売がなかったから？なんて声もあるくらい参加者層が違っていて、幼児連れのファミリーが多かったように感じました。

プラス、あまりの酷暑で出足が鈍ったのか、ペットボトルロケット協力者が乗った霞ヶ関駅からの臨時バスも乗客が少なかったそうです。と言っても、午後までそれなりの参加者で 1,523 名だったそうです。かわごえ環境ネットのブースは、「パイオニア」のカーナビ分解・組立、東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊（こもれび隊）の木工作とスズメバチの標本展示、ペットボトルロケットの製作と飛ばし実験、アクリルタワシ作り、ミミズコンポストや川の活動の展示、川越市環境行動計画「環境に配慮した行動チェックシート」の実施と今回初の「環境ビデオ・クイズ」を行いました。

クイズの内容は、今回の参加者にはちょっと難しかったようです。(仮称) 川越森林公園計画地で採取され、寄贈していただいた昆虫標本箱も展示しました。熱心に見ている方も多かったし、東洋大学で捕獲したスズメバチの実物標本（アルコール漬けにしたり、乾燥させて羽を広げた形にした物）に人だかりがしていました。こわごわ手に乗せて観察している子どもがとても楽しそうでした。スズメバチの実物に触れるなんて、生きていたらあり得ない経験なので、とても良い企画だったと思いました。

以下　協力者に感謝です。

パイオニア : 内田さん、山田さん、鎌田さん。

東洋大学：大久保さん、舟崎さん、湯浅さん、仲島さん、木下さん。かわごえネット：渡辺さん、村上さん、山田さん、青野さん、関口さん、森田さん、大澤さん、小瀬理事長、賀登さん、宮崎さん、原嶋さん、井口さん、渡辺さん、武田さん、浜尾さん、菊地さん、菅野さん、鎌田さん、横山、事務：橋本さん、山本さん、馬渡さん。

（横山三枝子、写真は横山三枝子、菊地三生、小瀬博之、事務局）

【報告】会員・地域・流域の活動

埼玉県環境科学国際センター主任専門員　金澤光先生出前講座
霞ヶ関西中学校 1 年生 川の生き物調査・観察会

中学校は左側

魚いないかなー

魚を求めて

魚の種類は何ですか

グループ発表会

先生の熱心な講座

ここ数年行っております上記の件、今年の中学校の責任者は、1 年生担任の森田先生で、6 月 27 日（水）に実施されました。支援したのは、荒川流域ネットワーク代表の鈴木さん、かわごえ環境ネットの賀登さん、井口さん、地元の山崎さんと私でした。昨年は、水辺再生 100 選で選ばれた河南橋のところで調査を行いましたが、今年は、金澤先生の強い要望により、往復 15 分間の無駄な時間をなくし、川に入る時間を長くするため、真近な中学校裏の新田神橋の上・下流で行うことになりました。事前に最小限の護岸の草刈りを行い、川に入れるようにしましたが、川幅が狭く流れも速く、護岸が石組となっていますので、肝心の魚は、簡単に石の間に逃避してしまい、ほとんど捕獲できませんでした。

捕らえられたのは、トンボのヤゴ類、川虫、アマガエル等に過ぎませんでした。幸いにして、事前に鈴木さんが投網で、井口さんが、得意の釣りで、オイカワ、カワムツ、カマツカ、タモロコ等の魚を確保していただきましたので、講座の一環としての魚の説明に、役立てることができました。

昼食後は、13 時半より、生徒がグループごとにまとめをし、代表者が発表を行いました。金澤先生の講座は、14 時半より 1 時間ほど行われました。埼玉県の木、花、鳥等に質疑を行い、魚に至っては、県の魚、ムサシトミヨについて、先生の作られた映像を使っての詳しい説明がありました。捕獲した魚については、1 種類ずつ生徒の前まで持ちまわり、説明されました。講座終了後、森田先生と懇談し、16 時前に終了となりました。残念だったのは、生徒自らが魚を

捕まえられなかったことだと思います。何とか来年度は生徒自らが魚を捕まえられるよう、工夫すべきではないかと思っています。

（原嶋昇治）

田んぼの生きもの調査（植物編）で野草料理を食べました　NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

安田講師の料理教室

みんなで調理

野草料理できあがり

7 月 7 日に田んぼの生きもの調査（植物編）で野草料理を食べました。

いくつご存じですか。身近な野草。

今回使用したのはカキドオシ、チドメグサ、ツユクサ、コナギ、ヨモギなど。当会の野草料理は、ヤスダ屋の安田花織さんを招いて足元にある草がおいしくおしゃれに変身します。

また生きものに詳しいクラフードの林鷹央さんが野草や田んぼの生きものを糧（かて）もんとして歌や図で楽しく解説。

今年は田んぼにいる動物性の生きものとしてナマズとタガメもメニューに入りました。実は今年、4 月のお米の種まきの際に当会の田んぼにナマズがお目見えしました。どうやら産卵のために外敵の少ない田んぼにあがってきたようです。ナマズは淡水域での食物連鎖の頂点にいるとされており、ナマズのお目見えをみんなで歓迎しました。そんなこともあり、このような環境を継続できることと自然の豊かさを味わうということでナマズ料理が加わりました。

ちなみに今回はナマズで町おこしをしている埼玉県吉川市から 4 匹の大きなナマズを仕入れて使わせていただきました。安田先生がご提案下さったおしゃれなメニューはこちら。

・ツユクサと厚揚げのエビ味噌炒め
・鯰とコナギの揚げ物
・ちどめぐさとトマトのマリネ
・カキドオレモンライス
・野草団子とマコモダケのココナッツスープ
・タガメゼリー

スパイスや焦がし醤油、オキアミの入った特製お味噌、ココナッツミルクなどの味付けと野草の力強さがマイルドにマッチして食べごたえのある野草料理の数々を楽しみました。

無農薬無化学肥料の農法ならではの生態系と安心安全に食べられる田んぼの豊かな恵みに感謝。

当日は、十文字女子大学の学生さん 5 人や川越市広報からのご参加の方もいらしてみんなで調理し、感謝していただきました。ごちそうさまでした。

当会では、毎年このような催しを開催しております。ホームページや Facebook ではお知らせがなかなか追い付かないので気になる方は会員登録をぜひ。みなさまのご参加をお待ちしております。

（柏井喜代恵）

◆かわごえ環境ネット会員募集　随時会員を募集しています。会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」を毎月お送りします。また、委員会活動、研修行事に参加できます。本紙への記事掲載も優先して行うことができます。年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円です。詳細は、かわごえ環境ネット事務局に問い合わせるか Web サイト（http://kawagoekankyo.net）をご覧ください。

小畔川魚とり遊び

小畔川の自然を考える会

さあ川に入ろう

何がとれたかな

30cm のヘラブナ

何と、カムルチー

いろんな場所でガサガサ

大きな水槽に入れてみんなで見る

連日猛烈な暑さが続く中で、7 月 16 日（海の日の祝日）に「かほく運動公園」前の小畔川水辺再生ゾーンで行われました。参加受付の初日の数時間で定員いっぱいになり、その後もキャンセル待ちが続くという人気でした。川越は川に恵まれていますが、なかなか川遊びのできるところが少ないのかも知れません。

当日は 30 人の親子連れ、かわごえ環境ネットから 10 人のスタッフで安全確保です。このところの晴天で水量は少なめで、水温も高く生ぬるいほどです。岸辺のアシが生えているところに網を立てて「ガサガサ」を開始です。すぐに採れるのがヌカエビ（カワリヌマエビと専門家は言う）、スジエビ、小魚。あちこちで同時展開なので、魚もビックリでしょう、次々とかかってきます。オイカワ、コクチバス、ニゴイなどなど 5cm くらいのがよく採れます。投網を試みると 30cm くらいのゲンゴロウブナ（ヘラブナ）が入りました。ここでの調査ではよく採れますのでかなりの生息数なのでしょう。

また、参加者の方が、水辺の草むらをガサガサすると、何と、50 ㎝以上もある魚を捉えました。最初「大ナマズだ!」と言っていましたが、よく見ると顔がちがいます。どうやら「カムルチー」のようです。水槽に入れてみると全容が見え、カムルチーに間違いないようです。小畔川には目視で大きなコイ、ブラックバス、ヘラブナ、そしてカムルチーと大食漢がたくさんいますが、小さなエビ、小魚もたくさんいますのでこれらが養っているのでしょう。他にはヤンマ系、ハグロトンボのヤゴ、ウシガエルのおたまなど実に多様な生き物が生息しています（特定外来種も含めて）。

参加者は、退屈する間がないほど、川を楽しまれた様子でした。熱中症などもなく、初めて行ったイベントでしたが、無事終えることができました。

（賀登環）

アオノリュウゼツランの開花記録

東洋大学小瀬研究室

東洋大学川越キャンパスに半世紀以上あるアオノリュウゼツランが 5 月以来花茎を伸ばし始めて、7 月 20 日に開花し、8 月 4 日には頭頂部が開花しました。ここでは簡単にその記録をとどめておきたいと思います。

アオノリュウゼツランは、原産地がメキシコやアメリカ南部の熱帯で、長い年月の一生のうち一度だけ花をつけて枯れてしまう「一稔性」の植物です。その長さから、英語では「Century Plant」（世紀の植物）と言われています。日本

では、大きな公園や庭先に記念樹的に植えられることが多く（分類としては木本ではなく草本になりますが）、30～50 年ほどで花をつけると言われています。

本学でも長年にわたって生育していましたが、5 月 14 日に花茎が伸び始めたのを発見して、7 月 12 日の 2 か月ほどで花茎の高さは 6m ほどに達しました。

花は 6 月 4 日ごろからつぼみを確認し始め、花序が 25 程度、花は数え切れないほど多くつけました。そして、7 月 20 日に最下部の花序が咲き始め、1 日 1～2 のペースで徐々に花をつけました。8 月 4 日には最頂部の花序が咲き始めました。花と言っても、花弁が大きく開くことはなく、折り畳まれていたおしべの花糸［葯（やく）と花の本体をつなぐ細い糸上の物体］が飛び出してその先に花粉のついていない黄色い葯が出てきて、その後にめしべが成長するという花でした。

それぞれの花序はおよそ 1 週間で、開花から咲き終わりまで推移しました。日本では受粉者となる特定の種のコウモリがいないので、自然界では結実することはないと言われていますが、花にできる蜜を狙って、通常は樹液に群がるシロテンハナムグリが多数花についていましたので、もしかしたら結実するかもしれません。

今回の開花にあたって、川越キャンパスに残されている古い写真を捜索したところ、1969 年の卒業アルバムにアオノリュウゼツランが写っていました。この株が現在の株と同じものであるか、子孫であるかはわからないのですが、おそらく 1963 年に竣工したかつての事務棟が建てられてほどなくして植えられて、1993 年に実験棟に建て替えられる前に現在地に移植されたのではないかと想像しています。今年は各地で花を咲かせているというニュースを見ますが、50 年ほど経って咲いたという株も多いので、このアオノリュウゼツランも半世紀キャンパス内で育ってきたのかもしれません。

執筆時点では花の末期になっていて、今週末（12 日ごろ）が咲き終わりとなります。新聞やテレビでも取り上げられて、3 週間半程度の花期にたくさんの方に訪問いただきました。まことにありがとうございました。

すでに子孫の株がすぐそばにできていて、また 30～50 年の年月をかけて成長して花を咲かせていくことでしょう。みなさん、次の開花までがんばって生きましょう。　（小瀬博之）

1970 年 4 月 15 日の写真にはすでにアオノリュウゼツランが写っている

2005 年 8 月 6 日にもう一株のアオノリュウゼツランが花期を迎えていた

5 月 14 日に初めて花茎が伸びていることを発見した

5 月 28 日の様子

6 月 14 日の様子

7 月 31 日の開花の様子

赤間川（新河岸川）に賑わい、市の取り組み、灯ろう流し、景観講演会など

◎「川の国埼玉はつらつプロジェクト」

「川の国埼玉はつらつプロジェクト新河岸川活用推進懇談会」の第 3 回が 7 月 27 日、川越市役所で開かれました。このプロジェクトは新河岸川を活用し、「地域の憩いの場の創出」や「新たな観光や経済振興にかかる魅力の創出」を図るというものです。計画案は高沢橋付近を親水空間として整備することで、菓子屋横丁の観光客を誘導し、さらに新河岸川沿いを濯紫公園や東明寺を経て氷川神社方面へ回遊させる散策路を整備するというものでした。すでに、高沢橋付近では腐食した木柵の修繕が県によって実施されており、今後の整備計画案として階段形式の護岸などのイメージ図が示されました。

高沢橋付近の階段の現状（左）と整備計画のイメージ（右）

親水空間の創出や、散策路の整備等で回遊性機能の向上をめざした計画図は、前回と変わらず、地元の自治会長からは、予算などの具体的な数字が出てないなどの不満も出されました。また、地元有志で川の清掃をしているが、管理の県土事務所と市の河川課やごみ収集との関係についての連絡体制についての質問も出されました。南部漁協からは、アユの住める川づくりについての提言も出されました。

◎氷川橋横で「水辺で乾杯」7 月 7 日に

埼玉県の「川の再生 10 周年キャンペーン事務局」から、川の国応援団に「川の国埼玉 水辺で乾杯」イベントの案内が送られてきました。川越市内でも、川の国応援団に登録している団体は数多くありますが、クリーン&ハートフル川越では、欄干に宝珠がある氷川橋たもとでの開催を呼びかけ、7 月 7 日、午後 7 時 7 分、ちょうど 7 人の参加で新赤間川の清流化への願いを込め、持ち寄った缶ビールや缶コーヒーで乾杯しました。たまたま、西日本で豪雨災害がありましたので、最初に被災地への黙祷をしました。すぐ近くの氷川神社の裏側の道から中は、風鈴や灯ろうに願を込める人でいっぱいでしたが、川の方へ足を向ける人はありませんでした。五十鈴川に負けないきれいな魅力ある川への願いを込めたひとときでした。

◎第 3 回「赤間川灯籠流し」8 月 18 日に

今年で 3 回目を迎える「赤間川灯籠流し」は、8 月 18 日（土）に、昨年と同じ石原橋たもとで開かれます。昨年、一昨年とも雨にたたられ、雷雨の合間を縫って何とか事故もなく行われました。「子供たちに残したい 自然の恵みを 失われた 歴史の継承を」をモットーに、石原町一丁目自治会「赤間川灯籠流し実行委員会」主催で行われ、地元の人の他、多数のボランティアの協力で開かれます。

当日は、13 時から楽しさいっぱいの模擬店や楽団演奏などを、もっこ館駐車場で開きます。開会は 17:30 からで、来賓あいさつのあと、見立寺側の階段から参加費 100 円で用意された灯籠セットに願を書き込んで流され、坂下橋などの下流で回収するようになっています。

灯籠は、もっこ館や地元商店、エムエス観光バスなどでも扱っています。詳細は三澤さんの携帯（090-3225-6003）まで連絡してください。

◎「川の景観とまちづくり」講演会 9 月 9 日に

小江戸川越の繁栄は、徳川時代から大正時代まで活躍した「新河岸川舟運」のおかげだと言われています。その繁栄を物語る「蔵」の魅力と小江戸の情緒を活かしたまちづくりに成功したのが NPO 法人蔵の会で、会長の原知之さんは、埼玉県の景観アドバイザーとして各方面へ助言を行っています。川越は名の通りに、入間川、新河岸川などの川を越えた台地に発展した街です。菓子屋横丁のすぐそばを流れる赤間川、川と街の景観を語る原さんの講演会が 9 月 9 日（日）13:30 からウェスタ川越で開かれます。問い合わせは武田 090-2521-5770 まで。（武田侃蔵）

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

7 月 18 日（水）9:00-10:00 に第 3 回事業運営委員会、10:00-12:00 に第 5 回理事会を福田ビル 3 階会議室において開催しました。

事業運営委員会

7 月 15 日の夏の郊外クリーン活動について報告がありました。今回は飲み物を配布しました。また、終了後、川越市斎場の部屋を使用させていただきました。猛暑が続く中で実施時期の再考を検討することになりました。Facebook ページや同グループには掲載済、団体の参加者には写真を送付したとの報告がありました。内容についての詳細は、本紙報告をご覧ください。

エコプロダクツ川越の出展前最終確認を行いました。7 月 22 日実施結果は本紙記事をご覧ください。

懇親会を次回事業運営委員会終了後に、会議会場としても使用する大黒屋食堂で開催することを再確認しました。10 名程度の参加を見込んでいます。

理事会

2 月に開催予定のかわごえ環境フォーラムについて、会場予約は 8 月 1 日から行うこと、8 月の事業運営委員会での報告集原稿募集案、協賛依頼書案を審議すること、講演会の講師候補を確認しました。

パンフレットの改訂を 9 月の理事会で検討するので、各部会へ協議を依頼しました。

10 月 20・21 日に開催される「川越まつり」における会場クリーン活動について、主催者に対して清掃ボランティアの申請を提出する必要があり、その申請書の内容を審議しました。

7 月 4 日の午前中に審査会を実施して、環境月間ポスターコンクールの「環境ネット賞」を 3 点選定したとの報告がありました。

7 月 28 日の「小江戸川越打ち水風情」の参加要請を、主催者である川越市内 4 ロータリークラブから受け、横山副理事長が参加することになりました（28 日は台風接近のため中止）。

社会環境部会より、パッションフルーツの挿し木講習を 8 月 10 日に北公民館で行うとの周知がありました。

（小瀬博之）

社会環境部会

例年にない猛暑が続くなか、7 月例会は 7 月 13 日（金）福田ビル 3 階会議室において、10 名の出席のもと、代表司会で開催されました。

まず、6 月の理事会、事業運営委員会の報告が代表よりあり、新しい連載の SDGs について、今後の方向を説明しました。次回からは、頁下段に 17 ゴールのイラスト入りのページにして、理解しやすいように工夫することが報告されました。

1. 当月の活動について

①15 日の郊外クリーン活動について、現在の準備状況や参加者の状況の報告が、担当の菊地さんや渡辺さんから報告がありました。例年にない猛暑が予想されますので、活動後の休憩場所の確保について武田代表が尽力することが決まりました。

②22 日のエコプロダクツについて、初めての試みである「環境クイズ活用の啓発プログラム」の準備状況について、担当の宮崎さんから説明があり、原嶋さんや井口さんらの協力でスムーズに運ぶめどが立ちました。

③8 月 10 日の「パッションフルーツ挿し木育苗講習会」講座の準備状況が報告されました。7 月 25 日の広報川越に開催内容が掲載され、8 月 1 日から電話申し込みが始まります。昨年同様の参加が見込まれますので、司会進行の打ち合わせを 8 月 7 日に行うことを決めました。

2. 社会環境部会が取り組む課題の確認

①環境講演会については、「家庭生活における化学物質」について企画を宮﨑さんからの提案を採用、11 月 24 日（土）午後に南公民館で実施することに決まり、PR パンフ、広報への掲載などを決めました。

②環境施設見学については、川越市内の「市民の森」「保存樹林」「湧水の変遷」や環境関係施設の現状について、市のバスを利用して実施する方向で意見がまとまりました。今後、内容については、次回の 8 月例会で希望をまとめることになりました。

（社会環境部会代表　武田侃蔵）

自然環境部会

7 月例会は 13 日（金）福田ビル 3 階にて 7 名の参加で開催されました。

1. 活動報告

①「（仮称）川越市森林公園」計画地定例活動 6/11（月）雨で中止、6/25（月）17 名参加　RD 種調査：オオバノトンボソウ、マヤラン、タシロラン、クモキリソウなど。概ね健在　7/9（月）19 名参加　第 2 ふれあいの森　保全活動　草刈り

②池辺公園　定例活動　7/3（火）　5 名参加　ごみ清掃、植物調査、竹除伐

③今成小学校学習支援　6/13（水）　本紙 7 月号報告済み

④高階北小学校学習支援　6/18（月）別ページ記事参照

⑤「キノコの観察会」　7/1（日）「（仮称）川越市森林公園」計画地　35 名参加　別ページ記事参照

⑥「田んぼの野草観察会と野草料理を食べよう」別ページ記事参照

2. 協議事項

①エコプロダクツ川越について　ペットボトルロケットのブースを担当する。須賀邦昭氏より本会に寄贈された標本箱を展示する。その際、リストも出せるよう作成する。

②「チョウの手引き」冊子を作成する。A5 版、40 ページ、30 部ほど、一部 500 円くらい。費用は自然環境部会予算から。チョウの卵、幼虫、さなぎの写真を提供してほしい。

③コラム「川越の自然を訪ねて」原稿確認など

（自然環境部会代表　賀登環）

【予告】かわごえ環境ネットのおしらせ・主催・後援行事

【トピック①・再掲】この夏「クールシェア」しませんか？（会員から 2 題）

◎「クールシェア川越 2018」

川越市環境政策課

クールシェアとは、自宅でのエアコンの使用を控え、みんなで涼しいところで過ごす節電対策の一つです。市では、7 月から 9 月までの間、図書館などの公共施設をクールシェアスポットとして選定する「クールシェア川越 2018」を実施します。クールシェアスポットは、川越市ホームページで確認することができます。また、建物の入口等に以下のマークを掲示しています。

◎“学習クールシェア”の実施

コーププラザ川越＆早稲田大学大学院納富研究室

コープみらいコーププラザ川越にて、夏休み期間に、中高生向けに学習スペースの開放をいたします。1 日 3 時間まで利用可能で、事前予約が必要です（自由に出入り・使用できるスペースではありません)。利用を希望される方は事前にコーププラザ川越にご連絡ください。なお、今季は早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科納富研究室と共同し、学習スペース利用者を対象にした“学習クールシェア”効果に関するアンケート調査を実施させていただきます。ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

【予定しているアンケート内容（案)】

①基本属性（居住地、性別、年齢、家庭・居住環境など）
②滞在時間、利用回数
③“クールシェア”について
④学習満足度について
⑤学習効果について

【学習スペース利用申し込み】

期日 : 7 月 21 日（土）-8 月 31 日（金）ただし、日・祝・8 月 11 日（土・祝）-8 月 17 日（金）休館
時間：10:00-16:00 のうち 3 時間
場所：コーププラザ川越（川越市南通町 4-4）
申込先：コーププラザ川越（Tel.049-226-1393）10:00-16:00（日・祝休・8 月 11 日（土・祝）-17 日（金）休）

【アンケートに関する問い合わせ先】

早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科納富研究室修士課程 2 年、柳内洋子
E-mail: yanai-yoko@suou.waseda.jp
Tel. 0495-24-5938（納富研究室）

【トピック②】夏の懇親会 in 川越昭和の街「大黒屋食堂」（8 月 21 日、要申込）

かわごえ環境ネット事業運営委員会では、事業計画に基づいて、交流行事を定期的に開催して懇親を深めています。会員限定で募集していますが、会員になりたい方でもけっこうです。おいしい食事をしながら語り合いませんか？

●夏の懇親会

日時 : 8 月 21 日（火）17:30-19:30
場所：大黒屋食堂（川越市仲町 5-2）
会費は実費（4,000 円程度)。申込は 8 月 14 日（火）までに横山（Tel.049-246-9319）へ連絡を。

【トピック③】2018 アースデイ・イン・川越・昭和の街 10 月 7 日（日）開催、SDGs 普及へ

20 回目を迎えるアースデイ・イン・川越は、4 月に開かれるアースデイの中央大会のローカル版として 1999 年から続いています。かわごえ環境ネット発足の 1 年前でした。水上公園駐車場で 6 回、小江戸蔵里（当時は鏡山酒造跡地として使用）で 3 回、蓮馨寺を中心に、熊野神社､旧川越織物市場などを会場に､「アースデイ・イン・川越 立門前」の名で 9 回続け、昨年からは、地元の幅広い支えで「立門前」から「昭和の街」の冠をつけて開きました。

この「アースデイ川越」で最初からパンフやチラシに使われたシンボルマークは、地球の周りを子供が取り巻く絵柄でずっと続けてまいりました。今年は、SDGs の啓発を盛り込み、昨年と同じ関係諸団体の参加を予定しています。

毎年参加する諸団体や行政とともに､「世界平和」「人類共存」「地球環境」「水と緑」「子らに“愛”」の 5 題で、標語、短歌、俳句、川柳、都都逸を幅広く募集し、合わせて、人口に膾炙した有名な作品を紹介することにしました。この作品を協力商店の店頭に掲示し、入選作品を投票で選ぶ予定です。会場準備など多数の方のご協力をお願いします。

（武田侃蔵）

社会環境部会主催事業

★パッションフルーツ挿し木育苗講習会

日時：8 月 10 日（金）13:30-15:00

場所：川越市北公民館（川越市氷川町 107）

定員：先着 30 人

経費：200 円（材料費、当日集金）

申込：8 月 1 日（水）10:00 より電話でかわごえ環境ネット事務局（環境政策課）（募集終了）

緑のカーテンにもなるパッションフルーツの挿し木による苗の育て方を教えます（作成した苗は、持ち帰っていただきます）。

自然環境部会主催事業

★「（仮称）川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動（毎月第 2・第 4 月曜日）

日時：9 月 10・24 日、10 月 8・22 日（月）9:30-12:30（8 月は休止）

集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動（毎月第 1 火曜日、時期によって変動あり）

日時：9 月 4 日、10 月 2 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

★甲虫調査

日時：9 月 1 日（土）9:00-12:00

場所：「（仮称）川越市森林公園」計画地

会合

●社会環境部会（2018 年 8 月度）

日時：8 月 10 日（金）15:30-17:00 北公民館

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

＊次回は 9 月 14 日（金）13:00-15:00 福田ビル 3 階会議室

＊会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会（2018 年度第 4 回）

日時：8 月 21 日（水）16:00-17:00

場所：大黒屋食堂（川越市仲町 5-2）

＊次回は 9 月 26 日（水）9:00-10:00 福田ビル 3 階会議室

◆広報委員会（2018 年 9 月度）

日時：9 月 5 日（水）9:00-10:00

場所:川越市役所本庁舎 5 階フリースペース（川越市元町 1-3-1）

＊次回は 10 月 3 日（水）9:00-10:00 同所

●自然環境部会（2018 年 9 月度）

＊8 月は休止

日時：9 月 14 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊会員はどなたでも参加できます。

◆理事会（2018 年度第 6 回）

日時：9 月 26 日（水）10:00-12:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊次回は 10 月 17 日（水）10:00-12:00 同所

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

川越市 環境部 環境政策課

問い合わせ（Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）

◎くぬぎ山地区平地林保全管理活動

外来植物の除去など、平地林の手入れ作業

日時：9 月 29 日（土）10:00-12:00（9:30 受付開始）

集合場所：「くぬぎ山・駒ヶ原の森」の草地（所沢市大字下富 1456-1）

服装等：林内作業用（長袖、長ズボン、帽子、タオル、軍手、飲み物等）

申込先:くぬぎ山地区自然再生協議会事務局（埼玉県みどり自然課）Tel.048-830-3150, Fax.048-8

30-4775, E-mail: a3140-12@pref.saitama.lg.jp　　申込期限：9 月 21 日（金）

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）
ホームページ http://blog.canpan.info/forest-musashi/

◎夜の鳴く虫観察会（公園と考える会共催）

日時：8 月 25 日（土）16:30-19:30
場所：南口休憩所（南口駐車場内）
参加費：無料（入園料、駐車場代は別）
持ち物：懐中電灯、虫よけスプレーなど

今年も講師の解説でクツワムシやスズムシの鳴き声や姿を楽しみましょう。往復はがきによる事前申込制です。Web を見るか公園管理センター（Tel.0493-57-2111, 9:30-17:00）にお問い合わせの上申込ください。申込締切8月18日（土）です。

http://www.shinrinkoen.jp/event/20170424130109.html

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：　9 月 8 日（土）9:30-12:30 ごろ
　　10 月 13 日（土）9:30-12:30 ごろ
場所：明見院（今福 677）近く
内容：農作業（B 級品のお土産付き）
会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

2018 年度予定表

月	日	活動内容予定
8		休み
9	8	モロヘイヤ畑の片付け
10	13	大根畑の片付け他
11	10	里芋の収穫 芋煮会
12	8	畑の片付け
1	12	雑木林の手入れ 焼き芋

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 事務局：佐藤（Tel.049-234-8500 [9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: info@minamikaze.or.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪　田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業（金曜日 9:00-12:00）

期日：8 月 10・17・24・31 日（金）
場所：地域交流センターに集合、農作業は近隣の田んぼです。（※巻末カレンダー未掲載）

◎月例会

日時：8 月 10 日（金）9:00-12:00（作業終了後）
場所：地域交流センター ホール

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel.070-5599-2623）
ホームページ http://kawagoesatoyama.ciao.jp/

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して河川を汚さない環境にやさしいお米作り、田園風景の保全や地域づくりの活動を行っています。入会は随時受け付けています。

◎稲刈り

日時：9 月 15 日（土）9:30-12:00（9 時集合）
場所：福田の田んぼ現地集合（川越市福田 310

地先、近隣に駐車場有）

◎理事会

日時：9 月 22 日（土）15:00-17:00

場所：川越市北部地域ふれあいセンター（川越市山田 1578-1）

Web サイト　Facebook ページ

東洋大学小瀬研究室（東洋大学川越キャンパス こもれびの森・里山支援隊「こもれび隊」）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: mlkomorebistf@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

こもれびの森・里山支援隊 http://www.toyo.ac.jp/site/satoyama/

◎里山林保全活動（初回参加可）

日時：①9 月 9 日（日）8:30 集合-16:00 片付終了、②10 月 6 日（日）8:30 集合-16:00 片付終了

対象：本学専任教職員・学生、市民等（高校生以上）

場所：東洋大学川越キャンパス 4 号館前

実施場所：東洋大学構内「こもれびの森」（川越市鯨井 2100）

作業内容：生育阻害木・枯損木の伐採、下刈り、つる切りなど

定員：15 名

費用：無料

持ち物:①森林内の作業に適した身支度(長袖、長ズボン、靴（長靴、安全靴、運動靴)、手袋（作業用革手袋、軍手)）②ベルト（手鋸や剪定鋏を通して身につける)、ホイッスル（安全確認のために使用す)、手ぬぐい・バンダナ（ヘルメットの下に身に付ける）③タオル・マスクなど森での作業に必要なもの、飲み物（熱中症対策)、昼食（学内の食堂・売店は休み）④あれば自前の道具（ヘルメット、手鋸、剪定ばさみ、耳栓、保護メガネなど）

申込：準備の都合上、開催日前週の週末までに mlkomorebistf@toyo.jp へ、参加を希望する行事名とともに①名前②住所③電話番号④性別⑤生年月日⑥（学生のみ）学部・学科・学年をおしらせください。

＊Web サイト（組織概要・開催案内・開催報告）
http://www.toyo.ac.jp/site/satoyama/

＊Facebook ページ（最新の活動報告）
https://www.facebook.com/komorebisatoyama

＊Twitter（中止連絡などの緊急告知）
https://twitter.com/toyokomorebi

Web サイト　Facebook ページ　Twitter

2018 年度予定表

月	日	活動内容予定
9	9	里山林保全活動
10	6	里山林保全活動（大学祭出展準備）
11	3・4	里山体験と木工教室（大学祭出展）
12	8	里山林保全活動
1	5	里山林保全活動

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel＆Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 金曜日

日時：8 月 17 日（金）

9 月 4 日（火）・21 日（金）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：8 月 12 日・9 月 9 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

③第 4 土曜日

日時：8 月 25 日・9 月 22 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9:00 より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田(Tel.090-2521-5770)へご連絡ください。

①8 月 26 日（日）9:00-11:00。琵琶橋から清身場橋まで。左岸中心にごみ拾い。終点近くの保育園広場で分別まとめて解散。

②9 月 23 日（日）9:00-11:00。旭橋、右岸横集合。新琵琶橋などの周辺クリーン活動。旭橋左岸空き地横に収集、解散。

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環（Tel. 049-234-9366）

◎小畔川　川歩き

日時：9 月 30 日（日）10:00-12:00

南小畔の源流探索

問い合わせ：賀登（Tel. 049-234-9366）

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野（Tel.049-222-1731）、当日の携帯電話連絡（Tel.090-7003-8617）

◎伊佐沼でバードウオッチング

（毎月第 2 日曜日、小雨決行）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円（保険代・資料代）

①8 月 12 日（日）10:00-12:00

サギの渡りが始まり、チュウサギ、アマサギなど、他の月に少ないサギが観察できます。

②9 月 9 日（日）10:00-12:00

シギやチドリが渡りの途中、伊佐沼で休んでいきます。旅が無事であるよう声をかけてあげましょう。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2018 年 9 月号（No.143，9 月 4 日ごろ発行予定）の掲載原稿は、8 月 15 日（水）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

●入稿に際してのお願い

編集をより効率的に進められるよう、入稿の際に次の事項にご協力いただければ幸いです。

①所定のテンプレートに入力を

Word 形式のテンプレートを用意しています。そちらを使っていただけると効率的に編集ができます。入用の方は広報委員会にご連絡ください（koho@kawagoekankyo.net）。

②文字の入力方法を統一的に

英数字はすべて半角で入力をお願いします。「()」「:」は原則として全角を用いていますが、英文や時刻表示の「:」は半角を用いています。

③図表や写真にはタイトルをつけて

読者が状況を把握するのに役立ちます。

④画像は添付ファイルで提出を

長辺を「800 ピクセル」程度にサイズを小さくした上で、ファイルを別途添付して提出してください。Word に貼り付けずにタイトルがわかるようにしていただければレイアウトします。

⑤原稿の入稿期限（毎月 15 日）にご協力を

原稿が揃わないと効率よく作業できません。早期の発行にご協力ください。

●インターネットメディアのおしらせ

1.本紙がカラーで見られます

会員に送付及び公民館等で配布している紙版は、モノクロの孔版印刷のために画像がつぶれてしまい、判別がつきにくい状況です。本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。鮮明な画像で本紙をお楽しみください。

http://kawagoekankyo.net

2.Twitter でかわごえ環境ネットをフォロー

本会 Twitter（@kawagoekankyo）は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。

https://twitter.com/kawagoekankyo

3.Facebook ページ「いいね！」してください

本会は、Facebook でも積極的に情報発信しています。かわごえ環境ネットからのおしらせだけでなく、イベント等の報告も逐次行っています。本紙で掲載されない速報もあります。Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を行って「いいね！」してください。

https://www.facebook.com/kawagoekankyonet

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（8 月 8 日～10 月 6 日）

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください			8/8 ◎クールシェア川越 2018（-9 月末） ◎学習クールシェア（-8 月末）	8/9	8/10 ◎9:00 月例会（みなみかぜ） ★13:30 パッションフルーツ挿し木育苗講習会 ●15:30 社会環境部会	8/11 山の日
8/12 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	8/13	8/14	8/15 〇本紙 9 月号投稿期限	8/16	8/17 ◎13:30 まち美化啓発運動	8/18
8/19	8/20	8/21 ◆16:00 事業運営委員会 ●17:30 夏の懇親会	8/22	8/23	8/24	8/25 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:30 夜の鳴く虫観察会
8/26 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1 ★9:00 甲虫調査
9/2	9/3	9/4 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	9/5 ◆9:00 広報委員会	9/6	9/7	9/8 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
9/9 ◎8:30 里山林保全活動（こもれび隊） ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	9/10 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全活動	9/11	9/12	9/13	9/14 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	9/15 ◎9:30 稲刈り（かわごえ里山） 〇本紙 10 月号投稿期限
9/16	9/17 敬老の日	9/18	9/19	9/20	9/21 ◎13:30 まち美化啓発運動	9/22 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎15:00 理事会（かわごえ里山）
9/23 秋分の日 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	9/24 振替休日 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全活動	9/25	9/26 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	9/27	9/28	9/29 ◎10:00 くぬぎ山地区平地林保全管理活動
9/30 ◎10:00 小畔川 川歩き	10/1	10/2 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	10/3 ◆9:00 広報委員会	10/4	10/5	10/6 ◎8:30 里山林保全活動（こもれび隊）

発行日　2018 年 8 月 7 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/